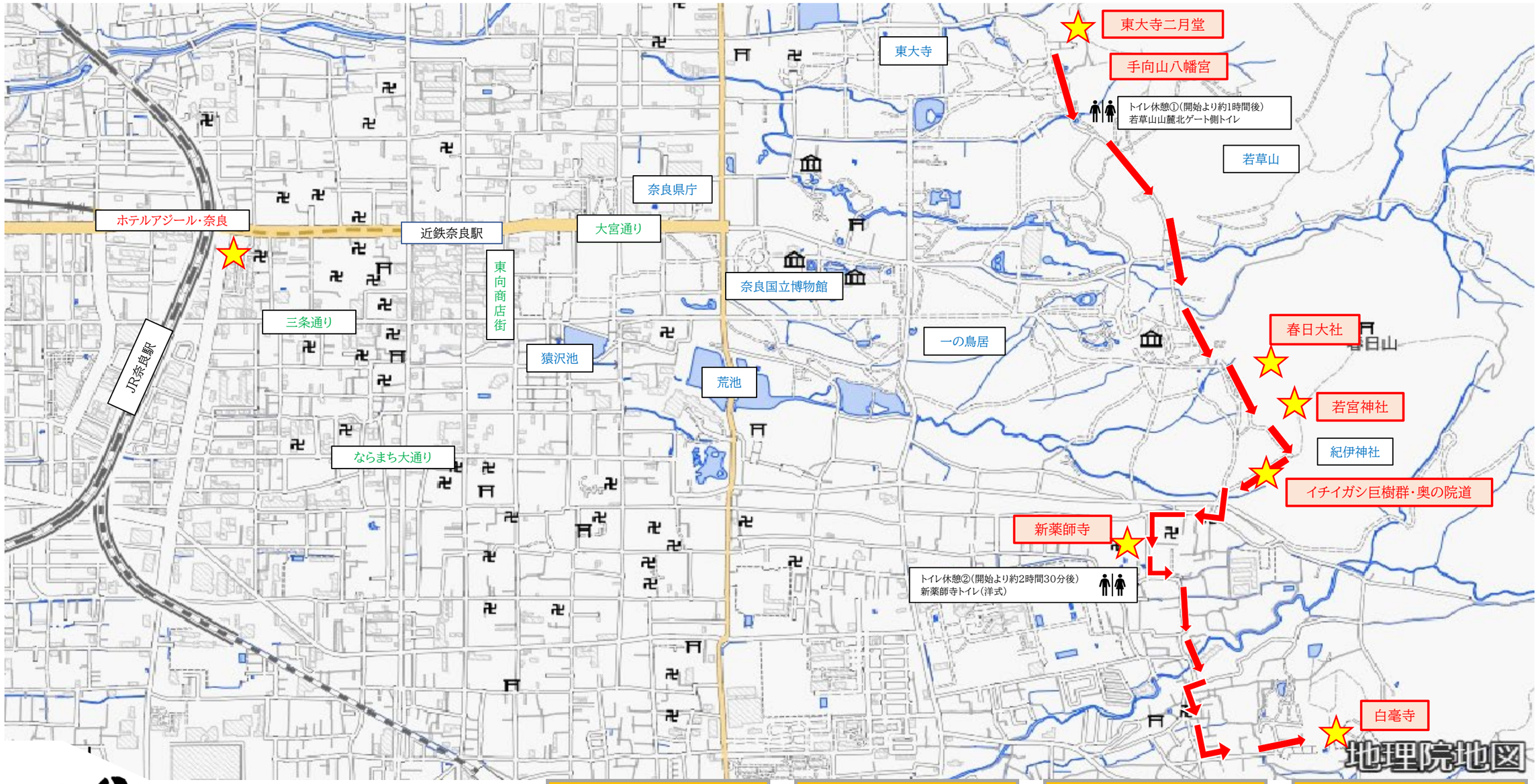


アジールさんぽ

第4回は『奈良、冴ゆる』と題し、朝だからこその奈良の空気を体感していただくべく、早朝さんぽを企画いたします。

1300年前の大地がそのまま息づき、現代に脈々と受け継がれる春日の山信仰をはじめとする自然を大事にする奈良の精神性を、ぜひ実際に歩きながら、自分の目で見て、触れてみてください。
(総行距離4km)

赤字 … ご紹介場所　　黒字 … 主要駅名称
緑字 … 主要道路名称　　青字 … 他の観光地、目印になるような建物

■東大寺二月堂■

春を告げる「修二会」。
松明を手に行う、奈良を代表する勇壮な仏教行事の舞台です。
薄暗い早朝には提灯に灯が灯り、昼間に見せる顔とはまた違った風景が眼下に広がります。

【アクセス】

徒歩:ホテルより約30分

バス:「手向山八幡宮・二月堂前」下車

■春日大社本殿・若宮■

奈良と言えば、と聞かれて東大寺の大仏と並んで名前が挙がるであろう神社。広大な敷地内には永い間守られ続けてきた緑が広がり、古の頃より信仰されてきた春日の山の力を全身で感じてください。

【アクセス】

徒歩:ホテルより約30分

バス:「春日大社本殿」下車

■新薬師寺■

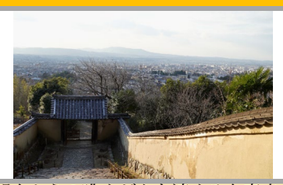
国宝に指定される本尊の薬師如来坐像、同じく国宝の十二神将立像が安置されている、高畑エリアを代表する古刹。お堂の中でぼんやりと照らされる仏像を見ながら、かつての彩りに思いを馳せて。

【アクセス】

徒歩:－

バス:「高畑町」下車

■白毫寺■



展望台からの眺めが心を清める白毫寺。宝蔵には、重要文化財に指定される阿弥陀如来像はもちろん、厳しいお顔を持つ閻魔大王が。奈良三大椿に数えられる五色椿の古木は、例年3月下旬～4月上旬が見頃です。

【アクセス】

徒歩:－

バス:「尾上町」下車